



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKACHI

十勝ワイズメンズクラブ

ワイズメンズクラブ国際協会東日本区

THE ERVICE CLUB
TO THE YMCA2026-2027 8月特別号
CHARTERED 1977

十勝クラブ会長 山田 敏明 主題 『Y'smen, be ambitious!』

国際会長	ヨハン・ヴィルヘルム・エルヴィック【ノルウェー】	『ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる』
アジア太平洋地域会長	ラチャン・マニカーン【タイ】	『アジア太平洋地域をブルーミュージックで目覚めさせる』
東日本区理事	山下 真【十勝】	『挑戦なくして進化なし』～響け挑戦のブルーミュージック～
北海道部部长	矢竹 年克【十勝】	『初心に帰り、さらなるステップアップへ』

事務局 〒080-0312 北海道河東郡音更町南鈴蘭南4丁目5-5 とかち帯広 YMCA 内 T 0155-32-5561



人を裁くな。そうすれば、あなたがたも裁かれることがない。人を罪人と決めるな。
ルカによる福音書 6章37～38節

会員	月出席者	ニコニコボックス	クラブ役員
在籍 15名 (内広義) (3名)	メソバー 8名 メソット・コメット 2名 ゲスト 2名 ビジター 0名 メソキップ 4名 計 16名	前月残高 426,696円 今月入金 0円 今月支出 100,000円 今月残高 326,696円	会長 山田 敏明 次期会長 中村 義春 副会長 中村 義春 池田 正勝 書記 渡辺喜代美 会計 大竹 由子 直前会長 矢竹 年克 担当主事 川口 豊
出席率 93%			

50周年を迎えて

十勝クラブ第50代会長 山田敏明

十勝ワイズメンズクラブは、1977年8月27日にチャーター認証を受け、正式に国際ワイズメンズクラブの一員として歩みを始めました。スポンサーは北見クラブではありますが、実際には初代会長・林育雄氏が京都パレスクラブ出身であったことから、創立当初より広い視野と高い志を持ったクラブとして出発いたしました。初代のクラブ標語「行動する十勝ワイズ」は、その精神を象徴する言葉であり、チャーター直後から日本区の中でも注目されるクラブとして記録されています。

その創立期の精神は、今年度の会長標語

「Y'smen, be ambitious!」へと確かに受け継がれています。行動し、挑戦し、地域に寄り添い続ける姿勢は、半世紀を経ても揺らぐことなく、クラブの根幹を成すものです。1978年に主要事業が本格化して以来、とかち帯広 YMCA 支援、ジャガイモファンズ事業、青少年育成活動など、地域に根ざした奉仕活動を積み重ねてまいりました。こうした歩みの中で、十勝クラブは東日本区30年の歴史の中から3名の区のリーダーである理事を輩出し、区運営にも確かな存在感を示してまいりました。

さらに当クラブは、11年前に台北ダウントウンクラブとIBCを締結し、国際的な交流を深めてまいりました。今回はその台北ダウントウンクラブより13名の仲間をお迎えします。また北海道部の仲間をはじめ、DBCである京都クラブ、東京江東クラブ、そしてIBCのトライアングルを構成する京都ウエストクラブからも10名を超す方々が来訪されます。加えて、十勝に深い親しみを持つ東西日本区の仲間も来勝してくださり、総勢100名を超す例会となります。この例会を通して、ワイズとは何か、そして十勝クラブが期待されているものは何かを、15名の全メンバーで共に考えていきたいと思っています。

十勝クラブ創立50周年を迎えて

東日本区理事 山下 真

十勝クラブのじゃがいもファンズは、農林1号からとうや（農林31号）への品種変更、さらにはかぼちゃや玉ねぎの追加など、時代の変化やクラブの要望に応えながら少しずつ形を変えてきました。

私たちはその精神を守りつつ、全国のクラブに北海道・十勝の食材を届け、それが各クラブの財源として活かされてきたことを何よりの励みとしてきました。

しかし現実として、京都部を除けば多くのクラブが高齢化とメンバー減少に苦しんでいます。そ

うした状況の中でも、各クラブが必死にじゃがいもファンドによる財源づくりに取り組んできた力を、これからも大切にしなければなりません。

一方で、クラブとしての取扱がないワイズメンバーからも「またあの味を味わいたい」という声が寄せられています。

また、YMCA やワイズメンズクラブの知名度不足を考えると、E コマース（ネット販売）を活用することで、北海道の農産物の美味しさや食の安全安心を求め一般消費者に対して、私たちの存在をアピールする新しい機会になる可能性があります。

全国のワイズのファンドは、これまで「ワイズだけを相手にしてきた」側面があります。

じゃがいもファンドは、各クラブが地域に販売を訴え、配布することで多くの理解を得てきた歴史がありますが、今後はクラブだけに頼るのではなく、より広い層の要望に応えるために、E コマースなど新しい分野への挑戦も必要になるかもしれません。

そこで得られた益金は、YMCA や地域に対する奉仕が「見える形」で示されることが重要です。私も他クラブのファンドで全国の美味しいものをいただいておりますが、YMCA やワイズのために活かされていることが大きな動機付けとなっています。その喜びをもっとわかりやすい形で広げられたらと思います。

ピンクシャツデーの絵本制作、プロジェクト TOKACHI（福祉施設の提案プロジェクト支援）、チャリティーコンサートの側面支援など、十勝クラブは少しずつ活動の幅を地域へ広げてきました。これらを積極的にアピールし、地域に根ざしたクラブとしての存在感を高めていくことが求められます。

簡単な道ではありませんが、YMCA への支援がユースリーダーの育成を含めたユースエンパワーメントにつながることを期待しています。

50 周年を機に、じゃがいもファンドの精神を守りながら、新しい挑戦へ踏み出す時期が来ているのではないかと感じています。

＝お知らせ＝

十勝ワイズメンズクラブ創立 50 周年記念例会 北海道部 部大会

8 月 28 日（金）

前夜祭（IBC ナイト） 19：00～

場所 ホテル日航ノースランド帯広

歓迎挨拶 十勝クラブ会長 山田敏明

挨拶 台北ダウントウクラブ会長 陳王季

京都ウエストクラブ会長 小川武士

8 月 29 日（土）

場所 中札内村 フェーリエンドルフ

北海道部評議会 13：00～

北海道部 部大会 14：30～

十勝クラブ創立 50 周年記念例会 16：00～

＜記念式典＞

来賓挨拶 山下 真（東日本区理事）

秋葉聡志（北海道 YMCA 総主事）

藤井寛敏（東京江東クラブ）

懇親会 森田恵三（京都ウエストクラブ）

フェローシップアワー 19：30～

8 月 30 日（日） オプショナルツアー

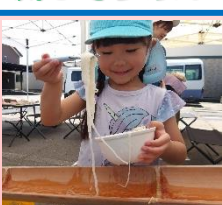
場所 十勝周遊 然別湖遊覧船乗船

31 日（月） 現地解散

＜主だったことを記載いたしました 敬称略＞

YMCA 幼保園・保育園 8 月の活動報告

流しそうめん



夏の幼児書道教室



親子ほたるウオッチング

8月1日に YMCA 恵みの里キャンプ場で「親子ほたるウオッチング」を行いました。池田ワイズに5つの池を案内していただき、今年もホタルを観ることができました。池田ワイズご協力ありがとうございました。

夏祭り

